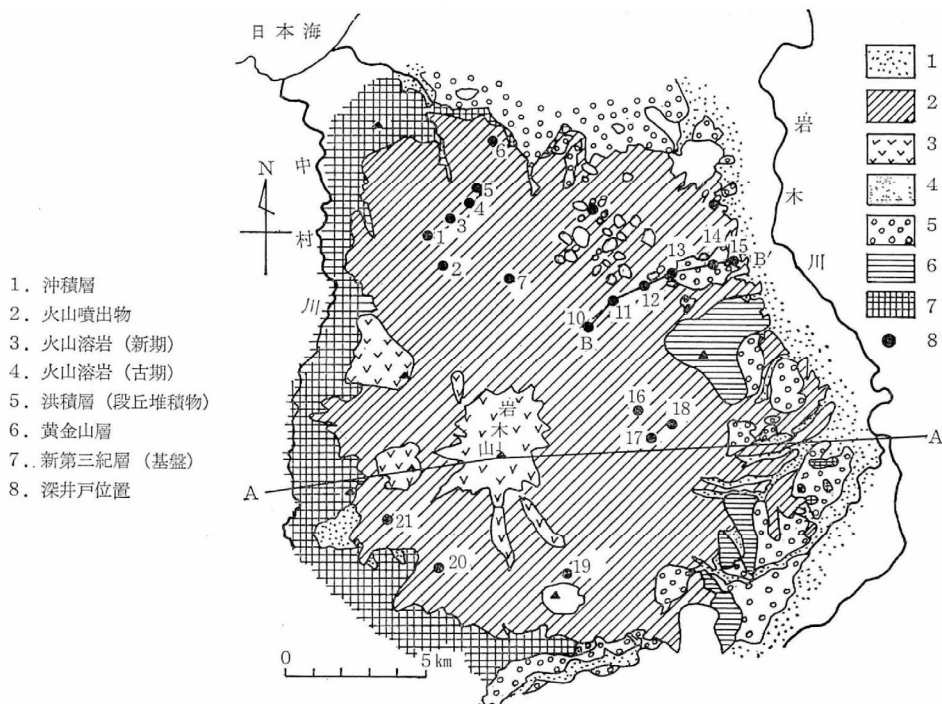


地形・地質

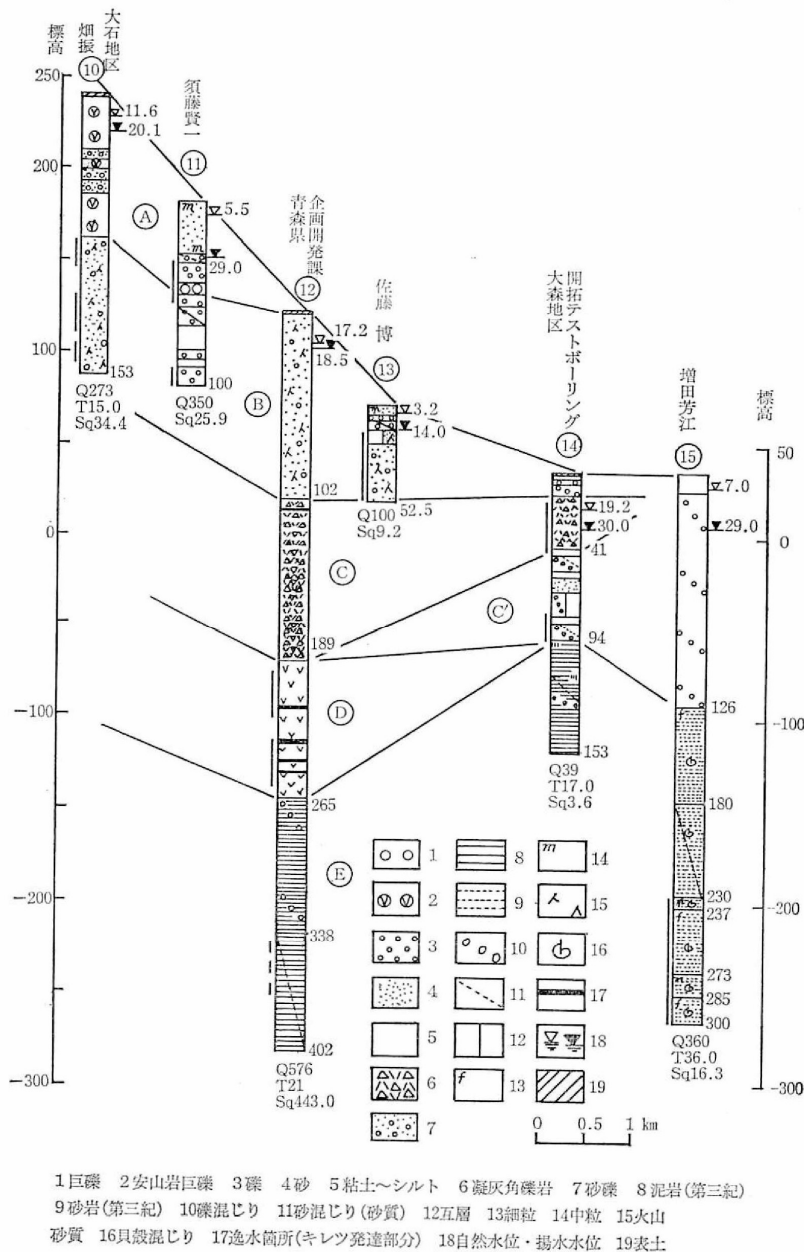
岩木火山は標高 1625m の複式火山で、外輪山は山頂付近に発達しています。標高 500m 以下では比較的緩傾斜(平均約 6°)の裾野を形成し、山麓末端部には岩木山をとりまく形で比高 50-150m の小丘群が数多く存在しています。



岩木山麓の地質図

地下水

北麓の水文地質的には、A・B・C・C'・D・Eの6つに区分され、B・D・E層は比較的良好な帯水層です。東麓では火山性扇状地が発達し、扇状地の末端部には湧泉が分布しています。



水文地質柱状断面図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）